

令和3年 理事長挨拶

はじめに

令和2年度は、新型コロナウイルスという得体の知れない感染症に翻弄され、今年度に入っても昨年同様、新型コロナウイルス感染症拡大が続く中で幕を開けました。

秋田市内でも5月下旬以降、新規感染者が2桁の陽性判明が続き、これまでにない勢いで拡大し感染者急増に歯止めがかからない状況です。

秋田県内でも新型コロナウイルスのワクチン接種が開始されました。当法人の入居者と関係職員のワクチン接種は6月に開始し8月までに全員終了しました。これにより状況の好転に期待を寄せるところでありますが、先行する欧米諸国の状況を見る限りは「気の緩みは禁物」と、改めて気を引き締める思いです。

今年度も、新型コロナウイルス感染症の徹底した感染対策を講じつつ、「財務会計に関する事務処理体制強化」 「介護人材の確保と定着化」 「LIFE」 「法定三帳簿の電子化」 「介護報酬改定」の5項目を重点事項として取り組んでいきます。

今後もこれまで同様に感染収束に至るまでの間、面会の禁止を含む各種感染対策の為の制限等、ご利用者様並びにご家族の皆様には、ご希望に添えぬことや、何かとご負担、ご不便を強いることもあるかと存じますが、何卒、ご理解の上、ご協力を賜ります様、宜しくお願い申し上げます。

令和3年

社会福祉法人はまなす会

理事長 泉 正 樹